

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和5年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和6年6月12日～7月19日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならないものあり。

No	基本目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R5事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的である	有効的と言えない	
									R5	達成率			
1	1	①	空き店舗等の有効活用	空き店舗や空き地の積極的な活用により、商工業の振興と街なかの賑わいを創出する。	○空き店舗情報のデータベース化と情報発信 ○町民の需要に応じた起業者の誘致 ○店舗改修、設備導入及び創業に係る支援(企業振興促進補助事業) ○チャレンジショップの開設	0	空き店舗の活用件数(R2～R6計)	5件	2件	40% (2件) [R2～R5]	57%	43%	空き店舗活用実績があり、事業の一定の効果はあった。ホームページ・チラシ等とともにSNSを活用した情報発信を強化する必要があると考える。
2	1	①	新商品の開発と販路拡大支援	地場産品の魅力の増大や企業の新たな取組みに対し支援を行う。	○地場産品情報の都市圏への発信とマッチングの推進 ○商品開発に係る支援(企業振興促進補助事業) ○農商工連携による商品開発 [関東圏を中心に本町の特産品を紹介し販路拡大等のきっかけづくりとして、中小企業者等販路拡大事業補助金や新製品開発・新サービス開発支援事業にて事業者を支援]	0	新規販路契約事業者数(R2～R6計)	10社	0社	0% (0社) [R2～R5]	43%	43%	実績がなく有効性の判断は難しい。中小企業等販路拡大事業補助金や新製品開発・新サービス開発支援等が活用されなかった原因や背景は検証が必要と考える。
3	1	①	起業・経営支援	若年層の起業意欲の促進と、企業経営者の積極的な経営施策に対し支援を行う。	○相談窓口の開設 ○定期的な起業セミナー等の開催 ○起業を応援するための情報発信 創業無関心層を対象とした「創業機運醸成セミナー」を開催	0	起業創業セミナー参加者(R2～R6計)	50人	0人	236% (118人) [R2～R5]	43%	43%	創業機運醸成を図るため、商工会と連携し例年実施しているが、日程等の関係によりR5開催なし。R5実績がなく有効性の判断は難しいが、若年層への定期的なセミナー開催は情報発信の貴重な場であることから、引き続き開催を検討する必要がある。
4	1	①	6次産業化の推進	地元で収穫又は水揚げされた地場産品の付加価値向上と効率的な出荷を可能とする加工、保管及び出荷に係るシステムを構築する。	○新技術(設備)の導入等による地場産品のブランド化 ○地産地消や産業間連携の推進支援 6次産業化の取組(設備投資、新製品開発経費)に対して補助	1,573	6次産業化取組件数(R2～R6計)	3件	1件	67% (2件) [R2～R5]	71%	29%	事業者からの相談に適宜応じており、設備投資分として1件実績があったことから、引き続き、新たに農林漁業の6次産業化助成制度を活用する者に対する周知、相談業務の充実と、新商品の開発や販路拡大に向けた支援を強化していく必要がある。
5	1	②	農業従事者の創出	新たな従事者の募集、受入、指導までを一括して行うシステムを構築する。	○新規就農研修生の雇用と受入農家の確保 ○受入体制の整備 [農業担い手協議会を中心に検討]	0	研修参加者数(R2～R6計)	5人	0人	0% (0人) [R2～R5]	43%	43%	実績がなく有効性の判断は難しい。現状、離農者の農地は近隣の農業者が耕作することで補っているものの、新規就農者の体験実習、就農研修等の実績がなかったことから、オロロン地区農業担い手確保対策協議会(羽幌町、初山別村、遠別町)においても、参加者確保できるよう取組を強化していただきたい。

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和5年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和6年6月12日～7月19日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならないものあり。

No	基本目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R5事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的 である	有効的 と言えない	
									R5	達成率			
6	1	②	1次産業後継者及び新規就業者等の育成	1次産業に従事する若年労働力の育成と定着化により後継者等を確保する。	○農地取得等にかかる支援(農業後継者対策事業) ○資機材の整備等に係る支援(漁業新規就業者等育成事業)	6,517	農水産業における後継者及び新規就業者(R2～R6計)	20人	0人	60% (12人) 【R2～R5】	71%	29%	農業では担い手対策として就農祝いの贈呈、漁業では新規就業者等育成として助成支援を実施している事業であり、担い手の定着及び就業意欲の向上に直接つながることから、引き続き、事業を継続しつつ、高齢化が進む就業者層の解消に向け取り組んでいただきたい。
7	1	③	事業承継と雇用のマッチング	働きたい人と働く人を必要とする町内企業等のマッチングを図る。	○従業員(継承者)を必要とする企業等と就労を希望する方の情報集約とマッチング [羽幌町中小企業持続化支援事業補助制度(設備の導入・更新、店舗内装改修等に対する補助)や羽幌町雇用促進助成制度にて支援]	0	マッチング件(店舗)数(R2～R6計)	5件	0件	0% (0件) 【R2～R5】	43%	43%	事業承継と雇用のマッチング及び補助事業について、過去実績がないことから有効性の判断は難しい。 町内の事業者が減少し、働く場所も限られており労働人口も少ないためマッチングは今後も必要であることから、各種補助金の内容や制度の活用を促進するための周知徹底と、町と商工会が連携し、町内企業等のマッチングを図ってほしい。
8	1	③	企業誘致及び異業種間連携	本町の環境に適した企業の誘致と本町の地場産品や取組に関心のある企業等との連携事業を展開する。	○工場立地に係る支援(企業振興促進事業) ○民間企業や各種学校等との連携による新たな雇用の創出 ○都市圏企業に対するテレワーク意向調査及び受入体制の整備	5,099	誘致する企業等の数(R2～R6計)	1社	0社	0% (0社) 【R2～R5】	86%	0%	札幌ヘルエポック製菓調理専門学校との連携は研修旅行受入に限らず、焼尻めん羊まつり出展や調理実習・学内レストランへの食材提供など継続して取組がなされており、有効的だったと認められる。しかし、令和5年度においても企業振興促進事業に係る工場等の立地に係る助成実績がなかったことから、地域の活性化に向けて、施策全体の再検討を図っていく必要がある。
9	1	③	雇用機会の拡充	既存企業における新規及び正規雇用を拡大する。	○常用パート及び新規雇用に係る支援の継続と支援対象者(障がい者)の拡大 [羽幌町雇用促進助成事業による補助]	5,760	新規雇用拡充数(R6補助決定者数)	20人	5人	25% (5人) 【R5】	100%	0%	常用パート及び新規雇用に係る支援の継続を目的とした雇用促進助成事業では、9社15名を対象に補助金交付の実績。 制度周知により企業へ浸透及び定着してきており、一定の効果が生まれていると評価する。 今後も雇用機会の拡大及び雇用環境の充実を図り、新規雇用を促す制度として企業等が利用しやすい制度設計に努めていく必要がある。
10	2	①	既存資源の活用	活用可能な財産を居住拠点及びその資源として有効に活用する。	○公共施設等解体跡地の宅地としての売却 ○空き家対策計画の推進(空き家バンクの運営) ○民間賃貸住宅情報の提供 ○サテライトオフィスへの活用	944	空き家利用戸数(R2～R6計)	30戸	13戸	160% (48戸) 【R2～R5】	100%	0%	制度の浸透が定着しており、空き家バンク契約成立11件、空き家対策補助金による住宅改修2件の実績があり、有効的と評価する。今後も制度概要を幅広く周知し、空き家の状態が悪くならないうちに利活用されるよう推進していく必要がある。また、町有地かつ今後活用予定のない宅地については積極的に売り払いを行っていく必要がある。

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和5年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和6年6月12日～7月19日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならないものあり。

No	基本目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R5事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的である	有効的と言えない	
									R5	達成率			
11	2	①	新たな住宅の整備	公営住宅の建設や単身及び世帯向けなど需要に応じた集合住宅の建設を促進する。	○公営住宅の計画的な建設 ○集合住宅の建設に係る支援(民間賃貸住宅建設助成事業)	111,302	民間賃貸住宅建設戸数(R2～R6計)	30戸	0戸	3% (1戸) [R2～R5]	86%	14%	民間賃貸集合住宅建設促進助成金制度については、需要状況アンケート結果及び応募状況から令和3年度より廃止となったが、町全体の住宅需要を見極めながら、適宜再開等を検討していく必要がある。 また、公営住宅についても長寿命化計画に基づく整備が進められているが、高齢単身世帯や子育て世帯、若年世帯など多様な世帯が必要とする住戸の規模や既存住宅の現状を見極めながら適切に供給・整備していく必要がある。
12	2	②	魅力ある地域の創出	本町が有する豊かな自然、豊富な食材、地域特性を売りに、知名度向上と交流人口の拡大を図る。	○観光施設(自然公園(天売島・焼尻島)、道の駅(はぼろ温泉、パラ園))等の整備と適正管理 ○地場産品(甘エビ、うに、めん羊等)や観光資源を活用した観光交流イベントの実施 ○日本唯一の海鳥専門施設「北海道海鳥センター」を核とした自然環境に特化した研究事業等の実施 ○焼尻めん羊牧場の安定経営による地域産業としての持続 ○中部3町村による関係人口創出連携事業の推進	71,147	イベント満足度(R2～R6平均値)	80%	-%	-%	57%	43%	令和5年度においては、焼尻めん羊まつりと天売ウニまつり(花火打上のみ)の開催で、徐々にイベント開催傾向となっているが、コロナ禍によるここ数年の交流人口減少の影響は大きいことから、新型コロナウイルスの状況緩和後については、知名度向上と交流人口拡大強化を図るため、継続的なイベント開催と新たなイベント創出を望む。
13	2	②	情報発信と宣伝普及活動の強化	宿泊者等の町内滞在者及び町外への情報発信に必要な素材の充実と積極的なPR活動を実施する。	○様々な媒体や機会を活用したPR活動の実施 ○外国人をターゲットにした戦略的プロモーションの展開によるインバウンド対策 ○広域による都市圏や他地域との交流事業の推進	3,832	札幌市近郊及び都市圏を対象とした宣伝事業実施回数(R6数値)	12回	19回	158% [R2 1回 R3 1回 R4 13回 R5 19回]	100%	0%	新型コロナウイルスの状況緩和もあり、事業実施が着実にできていることから、有効的と評価できる。 また、特産品PRを含めたふるさと納税増加のための取組については、町の魅力PRに欠かせないため、寄附増加につながる取組を今後も強化して実施していく必要がある。 両事業ともに、SNSやデジタル広告を積極的に活用し、新たな手法でのPRに取り組んでいくよう望む。
14	2	⑤	地域おこし協力隊事業	都市圏等他地域から本町で必要とされる新たな人材を招聘する。	○地域おこし協力隊事業 [協力隊に係る経費、協力隊活動助成金、協力隊起業支援補助金]	6,925	協力隊員定住率(R6数値)	60%	50%	83%	100%	0%	令和3年4月から自然環境保全等推進業務担当、令和4年4月から天売高校生徒募集等業務担当として2名の協力隊を採用、有効的と評価する。また、令和5年度末でともに退任し、うち1名は定住していることから、定住後の支援が必要な場合は積極的に支援するよう望む。 今後も必要な業務について精査のうえ募集を行い、定住に向けた支援を図る必要があると同時に、定住した協力隊員がこれまで培った力を発揮できるよう支援することが必要と考える。
15	3	①	シングルマザーの転入誘致	子育てしやすい環境を創出し、シングルマザーの転入を促進するための受け皿を構築する。	○受入窓口の維持、連携 ○雇用、住居、保育等のマッチング ○受入シングルマザーに対するアフターケア	0	受入件数(R2～R6計)	5件	0件	0% (0件) [R2～R5]	29%	43%	実績がなく有効性の判断は難しい。問合せ件数についても0件となっており、令和6年度から事業自体の廃止となっていることも踏まえ、シングルマザーに限らない移住定住支援事業に注力するなど、総合戦略登載事業として見直す必要がある。

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和5年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和6年6月12日～7月19日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならないものあり。

No	基本目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R5事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的である	有効的と言えない	
									R5	達成率			
16	3	②	出産までの支援	子どもをつくりやすい環境づくりを促進する。	○妊娠(不妊治療含む)・出産に係る費用及び精神的支援 ○出産祝品の贈呈 [保健師による妊産婦との面談、妊産婦健診や出産時に係る助成等、新生児へのめん羊布団贈呈]	6,096	合計特殊出生率(R6数値)	1.66%	0.77%	46%	86%	0%	令和5年度の出産件数は16件。KPIについては、基準を下回っているものの、保健師による相談業務、妊産婦健診及び出産に係る経費の一部助成など妊産婦の不安解消や経済的負担の軽減が図られており、有効的と評価できる。本町に産産可能な医療機関がないことから、今後も継続した支援を実施していく必要がある。本町に産産可能な医療機関がないことから、今後出産祝品の贈呈は、2人目以降の出産の場合はマットも選択可能となっているが、1人目でもマット贈呈や出産祝品の内容を精査するなど、工夫は必要。
17	3	②	子育て環境の充実	子育て世代が望む時代にあった子育てしやすい環境を整える。	○子育て世代の誰もが望み集いやすい環境の整備 ○相談(発達、育児等)及び保育機能等(一時預かり、遊びの場の提供等)の充実 ○子ども達に係る医療費の負担軽減 [認定こども園、私立幼稚園運営支援補助等]	193,397	子育てしやすい満足度(R6数値)	50%	-%	-%	71%	29%	令和5年度においても待機児童はなく、各認定こども園・幼稚園の取組により、保護者の需要は満たされているものと考えられる。また、乳幼児の発育に係る相談等も実施し、保護者の不安解消に努められていることや、中学生以下の医療費無償制度については、未申請者がなく保護者の負担軽減が図られていることから、有効的と評価する。今後も、子育て世帯のニーズに対し安定した支援を推進していく必要がある。
18	4	①	地元高校への進学者確保	地元高等学校の魅力向上と通学しやすい環境作りに努め、町内外からの進学者を確保する。	○高等学校の魅力化支援 ○高等学校進学に係る経済的支援 ○奨学金制度の拡充 ○道内外中学校等に向けた宣伝PR	24,091	町内中学生の町内高校への進学率(R6)	80%	64%	80%	100%	0%	地元高校への支援事業、進学に係る経済的支援については町内及び近隣町村の生徒が羽幌高校を選択する状況に寄与しており、有効的と評価する。また、天売高校に関しては、島外入学者が増加傾向にあり、令和4年度より学生寮のほかに島内旅館を下宿とするなど、受入体制が強化されている。今後も魅力ある高校への支援を期待したい。
19	4	②	児童生徒の学びの機会充実	学習や体験学習の場の充実及び拡大を図り、魅力ある学びを提供するとともに、郷土愛を育む校外活動を促進する。	○子ども自然教室事業	157	自然教室平均参加率(R6)	65%	50%	77%	100%	0%	平均参加率が基準を下回っているものの、異年齢の児童との活動により豊かな情操や人間性を養い、郷土愛を育てており、娯楽の場の提供という点でも大変良い事業であり、有効的と評価する。今後も、参加児童・保護者の意向や希望を把握しながら、幅広い事業の展開を期待する。
20	4	③	人づくり事業	地域活動等に従事する町民の中から将来のまちづくりを担う人材を育成するとともに、地域医療を支え志す将来の医療従事者(人材)を育成する。	○研修活動等に係る支援(人づくり事業) ○地域医療に従事する看護師等の育成(助産師・看護師確保対策事業)	3,909	補助決定件数(地域活動)(R2～R6計)	50件	10件	46%(23件)[R2～R5]	100%	0%	人づくり事業補助は、地域スポーツの指導力向上のための資格取得、青少年の健康増進のための冬のイベント実施、羽幌高校生の韓国短期留学費用など計10件の活用があった。修学資金貸付については、卒業生2名が看護師として就職したほか、医療従事の貸付対象も順調に推移しており、有効的と評価できる。今後も制度概要等の周知を図りながら、利用しやすい制度設計に努めていく必要がある。
						貸付決定件数(医療従事)(R2～R6計)	10件	5件	220%(22件)[R2～R5]				

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和5年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和6年6月12日～7月19日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならないものあり。

No	基本目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R5事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的 である	有効的 と 言え ない	
									R5	達成率			
21	4	⑤	介護向け人材の育成	高齢社会に向けた人材の育成及び確保に努める。	○高校生と介護職員の交流事業 ○介護知識向上のための研修会等の開催 ○介護職員の給与等の底上げの実施  [ケアマネージャーの交流及び技術向上等を目的とした研修会の実施、資格取得に係る経費の助成]	235	交流会及び研修会実施回数(R6数値)	2回	0回	0%	71%	29%	実績がなく有効性の判断は難しい。町主催の研修会については、地域ニーズがないため実施に至っていないが、他団体実施の研修会参加費用への補助により、一定の人材育成と確保が図られていると評価できる。 引き続き事業所や病院、高校への事業内容の周知を行い、受験者の負担軽減、介護従事者の確保と介護サービスの安定供給を図る必要がある。介護以外の対象業種の拡大も検討されたい。
22	4	⑤	高齢者向け生きがい対策	高齢者の居場所、活躍の場の確保に努める。	○老人クラブ活動事業	932	老人クラブ組織数(R6数値)	9団体	6団体	67%	86%	14%	高齢者が集い、軽スポーツや研修旅行など生きがいや健康づくりに活発に取り組む老人クラブの活動の支援は、明るい長寿社会づくりにつながっており、有効的と評価する。 高齢者も含めた人口減の中、昨年度のクラブ組織数を維持していることも評価できるため、今後も組織数維持を目標に、新規会員の勧誘に対するの助言指導など活動支援強化を期待する。
23	4	⑥	障がい者及び高齢者等への支援	バスその他の交通機関の利用が困難な重度の障がい者及び高齢者等が、通院等でハイヤーを必要とする場合に、その費用の一部を助成することにより、その者の日常生活または社会生活の活動を容易にし、もって福祉の増進を図る。	○福祉ハイヤー料金助成事業  [下肢等の障がいにより歩行が困難な者や当該年度中に80歳に到達する者へ福祉ハイヤー利用券を交付]	6,022	対象者利用数(R2～R6平均値)	70%	51%	64% (44.9%) [R2～R5平均]	100%	0%	令和6年度の目標指標値70%に対し51%と対前年で微増。従来の1乗車で1枚の利用から複数枚利用を可能としたことで利用率が年々上昇しており、有効的と評価する。 障がい者等の生活支援の一助に欠かせないため、今後も更に認知度を上昇させて継続していくとともに、年齢要件の検討も含め、制度が更によりものになるよう努めていく必要がある。